

# 雲北陵月報

No. 388

平成29年12月20日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷



## 受験力⇨人間力?!!

進学指導部長 岡 由美子

今年も残りわずかとなりました。今年度も3年生のうち約8割の生徒が進学を希望しており、既に合格を決めている人も少なくありません。一発で合格を勝ち取った人、諦めず再チャレンジして夢を叶えた人、新たに挑戦しようとする人、様々な生徒の顔が浮かびます。受験という一つの「試練」に立ち向かう経験を通して、一人ひとりの成長ストーリーがあると実感しています。

進路が決まった皆さんは卒業試験に向けて学習に励むことはもちろんですが、進学の学びに備えてしっかりと学力を付けておく必要があります。また、センター試験や一般入学試験を受験する皆さんにとっては、これからの受験本番。追い込みの時期に入り、入試に向け一つひとつ、できることを確実に増やしていきましょう。体調にも留意し、万全の状態です自信を持って本番に臨み、実力を発揮してくれることを願っています。

約半分がなくなるという予測について耳にしたことがありますか。にわかには信じがたい話に思えますが、AI(人工知能)が日々劇的な進化を遂げている今日多くの仕事が自動化された未来は確実に近づいていると言わざるをえません。しかし人間にはAIに勝る力があると言えます。それは「意味」を理解する力です。新しい入試で求められる三つの力も、この「意味」を理解するということ「人間らしい力」と結びつくものです。思考し、判断し、表現する力を養ううえで大切なことは多々あるでしょうが、その内の一つは自分自身が実際に行う経験の積み重ねであると考えます。ある経験を通して問題意識を持ち、自分なりに見通しを立てたり解決策を考えたりしていくことや、それを分かりやすい言葉で表現していくことをこれまで以上に重要視して行く必要があります。

進路実現に向けて求められる力の変わっていく部分と変わらない部分、その両方を見据えたより良い指導を模索しつつ、今後も北陵生一人ひとりが満足のいく進路選択ができるよう全力でサポートして行きたいと考えています。

### 美術部

#### 第50回島根県総合美術展(県展)

時 11月11~19日  
於 島根県立美術館

#### 高田未来(36種)県展デザイン部門で銅賞の快挙

島根県が主催する一般の公募美術展に出品したところ、デザイン部門で高田未来のCGデザイン「懐中時計専門店TAKA T.A.」が銅賞を受賞した。



高田さんの作品

一般の公募展で高校生が銅賞を受賞できたことは快挙であり、大きな自信になったと思う。今後も積極的に挑戦していきたい。

(顧問 石倉 正)

#### 第50回島根県高校美術展

時 12月15~18日  
於 県立美術館(松江市)

絵画・デザイン・彫刻・工芸の各部門に全県の美術部員から476点の応募があり、盛大に島根県高校美術展が開催された。本校からも43点を出品、34点が入選した。全国高等学校総合文化祭への作品推挙には一歩及ばなかったが、上位作品に選出されるなど良い結果であった。

#### 薬物乱用防止啓発用ポスター

全県から133点の応募があり、本校からは、原田佳林の作品が佳作に入賞し、今後県内4会場で開催されることとなった。



原田さんの作品

佳作 原田佳林(26歳)

(顧問 石倉 正)

### 写真部

#### 「Fotline全国高校生写真サミット2018」出場決定!

ニコン主催の全国公募フォトコンテストにおいて、年間上位入賞15校に出場資格が与えられる「全国高校生写真サミット」に本校写真部の出場が決定した。この大会は、3人1組で3枚の組写真を制作し、審査員の前でプレゼンを行って覇を競う形で行われる。期日は2018年2月2日(金)~4日(日)の3日間、会場は横浜美術館となった。本校からは郷原滯哉(24歳)、吾郷真菜(14歳)、福島悠太(12歳)の3人が出場する。最高の舞台に立てることに感謝し、一つでも多くのことを学んで帰りたい。

(顧問 村上 学)

### 進学状況

#### 国立大学すでに5名合格! 北陵生大躍進!

大学合格の朗報が続々と舞い込んでいる。現在、国公立大学・短期大学への合格者7名の合格など、北陵生が素晴らしい成果を上げている。合格者の多くは部活動に所属しており、限られた時間を有効に使い、ためまぬ努力を積み重ねた。その姿に拍手を送りたい。

センター試験や一般入試まで残りわずかとなったが、全教職員一丸となって受験生を精一杯サポートしていきたい。

(今年度の主な合格先)

- 【国立大学】島根大学(2名)・山口大学・福岡教育大学(2名)
- 【私立大学】早稲田大学・昭和女子大学・広島修道大学・環太平洋大学・阪南大学・京都産業大学・京都外国語大学・広島経済大学・安田女子大学・エリザベト音楽大学・岡山理科大学・神戸学院大学 など
- 【短期大学】島根県立短期大学(2名)・大阪健康福祉短期大学・西九州大学短期大学部・比治山大学短期大学部・広島文化学園短期大学 など

### テニス部 学年別大会

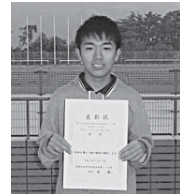
時 12月9・10日  
於 浜山公園など

〈1年生男子〉  
3位 岡 航輔(16歳)

〈2年生男子〉  
4回戦敗退

〈1年生女子〉  
3回戦敗退

岡は、安定した試合運びで3位入賞を果たした。堂々としたプレーに精神的な成長が感じられた。(顧問 石川剛巨)



### 第13回北陽マラソン大会

時 12月3日  
於 スパーク出雲

〈高校男子の部3km〉  
須藤大河(23歳) 6位、布野隆省(12歳) 8位

好天に恵まれ、会場には健脚を競う多くのランナーが集まった。本校からは2名が入賞する結果となった。

また、スターター補助、走路員として参加した部員にとっては、地域の方々の交流が深まる良い機会となった。開会式前には、恒例ともなった本校吹奏楽部による演奏が行われ、大会に華を添えた。(陸上競技部顧問 別所美喜子)

### 学校開放美術講座

時 11月23日  
於 本校美術棟

美術の基礎である素描を学ぶ美術講座を開催した。本年は中学生を中心に多くの参加があり、皆熱心に3時間の素描に取り組んだ。

次年度も開催を予定しており、ぜひ多くの方に受講していただきたい。

### 第59回ビジネス文書実務検定合格者

時 11月26日

〈3級合格者〉

安喰昌太(21歳)、金築涼斗(21歳)  
木村 空(21歳)、高野泰成(21歳)  
竹中柊雅(21歳)、田和 潤(21歳)  
中村流輝哉(21歳)、松谷陽路(21歳)  
三瓶大和(21歳)、森山達也(21歳)  
川上美季(21歳)、角 友香(21歳)  
秦 夏帆(21歳)、福田渚紗(21歳)  
福岡瑞稀(21歳)、増井万梨奈(21歳)  
柳谷音羽(21歳)、尾添志保(23歳)  
木村桃子(23歳)、渡部早紀(23歳)

### 保育実習

先般、高校2・3年生の保育系列選択者が、出雲市内2ヶ所の保育園で保育体験実習を行った。今回は、担当クラスの日程に沿った活動の他、手作りおもちゃを使った遊びや、ベープサートの発表などをさせていただいた。子どもの年齢や場面に応じた言葉かけや接し方など、教わる事が多く、貴重な体験をさせていただいた。実習先の先生方には大変お世話になりました。



### 就職状況

#### 就職内定100%達成!

【県外】航空自衛隊・陸上自衛隊(2名)・  
㈱共立メンテナンス・㈱大國商事

【県内】島根中央信用金庫・島根農業協同組合出雲地区本部・㈱出雲村田製作所  
(3名)・㈱ジェイ・エム・エス出雲工場  
(2名)・㈱ダイハツメタル出雲工場・ヒ

ラタ精機(2名)・島根イーグル(㈱)・  
㈱キセキ中国・山陰冷暖(㈱)・㈱松井島根  
ファクトリー・KBツツキ(㈱)・企業警備  
保障(㈱)・㈱ジェイアール西日本米子メン  
テック・㈱出雲技研・㈱長楽園(2名)・  
山田辰(㈱)出雲ファクトリー・㈱ウッドベ  
ル・㈱共立メンテナンス(3名)・㈱特  
産ひかわ・㈱フジックス・㈱ヘンミ・(有)  
喜島塗装・(有)信愛フードサービス・(有)布  
野・傑昇建築

### 弦楽ワグス

11月4日、イオンモ  
ール出雲にてウインタ  
ーコンサートに出演し  
た。

たくさんのお客様に  
集まっていた頂き、ク  
ラシック、デイズニー  
の名曲、Jポップなど  
7曲を演奏した。

このコンサートのために自分達でプロ  
グラムを考え、3年生を中心にアンサン  
ブルをはじめとする細かい練習を積極的  
に行い、当日は弦楽器の魅力を伝えるこ  
とができたように思う。アンコールで演  
奏した「ラデツキー行進曲」では、お客  
様の中から自然に手拍子がうまれ、会場  
がひとつになった。

メンバーが少なく、年間の本番回数も  
少ない弦楽クラブにとって、今回のコン  
サートは大変貴重な経験になった。

今後も弦楽器の素晴らしさを勉強しな  
がら、個人の技術向上とアンサンブル力  
を磨いていきたい。(講師 福田悠子)



### 合唱部

ゆめタウン出雲  
ツリー点灯式  
時 11月12日  
於 ゆめタウン出雲

トの一つとして開催されている「2017出雲  
の冬のイルミネーション」に吹奏楽部が  
オープニングとして出演した。当日は気  
温が低かったが、大勢のお客様が参加さ  
れた中行われたイルミネーション点灯式  
は感動的であった。

今後も地域に愛されるバンドを目指し  
精進していきたい。(顧問 原田 実)

ツリー点灯式  
に呼んでいただ  
き、フロアに多  
くの方が詰め掛  
けてくださった  
アニメやCMソ  
ング、J-POP  
などさまざまな  
なジャンルの曲  
を歌い、クリス  
マスソングも披  
露した。これか  
らも人の心に届  
く演奏を目指し  
日々練習を重ね  
頑張っていきた  
いと思う。

(副顧問 渡部絢乃)



### 演奏会のお知らせ

本校合唱部が左記のコンサートを開催  
します。皆様のご来場を関係者一同心よ  
りお待ちしております。

出雲北陵中学・高等学校校合唱部  
クリスマスコンサート

日 時：12月24日(日)  
13時00分開場 13時30分開演

場 所：ビッグハーフト出雲  
入場料：無料

### 吹奏楽部

2017出雲の冬のイルミネーション  
時 12月2日  
於 今市町 四つ角噴水広場  
出雲市の中心商店街のシーズンイベン

# 税の作文

《中学校》

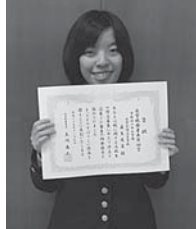
11月29日、中学校校長室に於いて、「中学生に於いて、「中学生の税についての作文」の表彰式が行われた。今年度は今岡碧(中1)の「みんなの生活を守る税金」と久家鈴(中2)の「税金と未来」の2作品が公益社団法人出雲法人会優秀賞に選ばれた。生徒にとって身近な税について考える活動となった。



今岡碧(右)と久家鈴(左)

《高等学校》

「税に関する高校生の作文」に応募したところ、本校から直良友夏(16)が出雲税務署奨励賞に選ばれた。受賞に際し、出雲税務署から立川泰久署長をはじめ3名が来校され、本校で表彰式が行われた。



直良友夏

## 高校 新生徒会長・副会長決定

生徒会長選挙の公示を受け、3名が新生徒会長として立候補した。12月4日の立会演説会を経て、11日に投票が行われ、次のように決した。新生徒会長を中心に2名の副会長が力を合わせ、次年度の生徒会を盛り立ててくれることを期待したい。

副会長 別所いづみ(25) 清水大成(24)

## 中学校 新生徒会三役

12月4日に行われた生徒会長選挙立会演説会並びに選挙の結果、次の生徒が各役職に選出された。

○生徒会長



神田真秀(中1)

私は、演説で話した「安心して暮らす中学校」づくりを本校のスローガン「日本の中学校」のもと実現していこうと思います。そのため執行部を中心に明るく楽しい雰囲気をつくり、学校全体を盛り上げていこうと思います。

○副会長



岡日輪乃(中1)

私は、この学校を笑顔が絶えない学校にしたいと思います。みんなが笑顔で過ごせるような学校に行きたいと思えるように頑張ります。

○副会長



三宅輝也(中2)

私は、全力で会長をサポートし、この学校を元気で明るく、思いやりのある学校にしていきたいです。

○議長



諸井咲人(中2)

私は自ら率先して行動し、挨拶がしつかりできてけじめのある学校をつくりたいです。そして、日本の中学校を目指して頑張ります。

# 中学校

## 卓球部

第40回島根県中学校選抜卓球大会

12月9日 於 大田市総合体育館

〈男子団体〉2位

〈男子シングルス〉

優勝 原田哲多(中2)

2位 杉浦大和(中1)

3位 津村真斗(中1)

○大会総評

男子団体は決勝で敗れ、全国大会出場を逃す結果となった。今回の敗戦を糧に、チーム全体が今後成長していけるよう頑張っていきたい。

(顧問 相場翔太)

## 女子バスケットボール部

平成29年度出雲市中学校一年生強化大会

12月10日 於 斐川西中学校

## 行事優勝!

1回戦 本校 73-18

2回戦 本校 93-23

準決勝 本校 54-24

決勝戦 本校 55-37

向陽中 平田中 斐川西中 河南中

## テニス部

MUFGジュニアトーナメント県予選

12月9日 於 松江総合運動公園

〈15歳以下男子シングルス〉

ベスト8 駿馬怜人(中2)

ベスト16 吉岡七生(中3) 北村洸瑠(13)

## 第4回 合同道徳

校訓と道徳を学ぶことについて

11月20日 講師 水谷 勲 理事長先生



どの学校にも、どの校訓にも、知識よりも人間のあるべき姿が大事に思っていることを知りました。また、学校生活だけでなく家庭を明るくすることも本校の学び第一目標と知りました。今後意識して過ごしたいと思います。

糸賀遙奈(中2)

## 第2回校外講師特別講座

ポランティア体験学習

11月27日に、10名の講師の方をお招きし、ポランティア体験学習を行った。

当日は、点字や手話、高齢者疑似体験など、実際に活動しながら福祉の大切さを学んだ。

また、青年海外協力隊や災害ボランティアに参加された方からは、現地の状況について写真を見ながら説明を受けた。「家でおばあちゃんが大変だったから、進んで手伝ってあげたい」「日本に生まれたこと

や今の生活に感謝しないといけない」など、これから生きる方にも触れるような貴重な体験学習ができた。



高齢者疑似体験の様子

## 作品と研究

### 出雲税務署奨励賞受賞作品 命を守る税金

直良 友夏 (16歳)

私達が今、色々な方たちで納めている税金は、生活の中でさまざまな場面で使われ支えられています。その中でも「医療費」について書きたいと思います。

私が今回、税の作文を書くにあたって思ったのは、私が小さい時に心臓の手術をした時の事です。私は小さい頃、心臓に病気が見つかった時、私達のような中学生や高校生には払えないような高額な手術費がかかったと聞きました。ですが、「育成医療費制度」という子供の手術費を助成してくれる制度をつかって約100分の1の金額しか支払わずに済んだそうです。今でも、受診の時にかかる医療費は、「小児慢性特定疾患」という助成制度を利用して、負担する金額が少なく済んでいます。その両方の制度を調べてみると、どちらも税金でまかなわれていて、どちらも税金でまかなわれていない事が分かりました。その制度を使えなかったら、手術を受ける事もこの学校で高校生活を送ることができなかつたかも知れません。

特別な病気に限った医療費だけでなく、小さい子供達が風邪などで受診する際の医療費は、「乳幼児医療」という制度で助成されています。市町村によって異なりますが、出雲市では、小学校に入学するまで無料だそうです。我が家は兄弟が4人いる

ので、とても助かったと母は言っていました。

今回調べてみて、医療に関する税金だけでも私はこんなに助けられているなんて、とてもびっくりしました。高校生の私にとっては税金は種類はたくさん知っていますが、税金を納めているという感覚はあまりありません。今まで私は税金は大人が働いて得たお金の中から自動的に支払われているのかなと思うていました。ですが、これらの税金の使い道は普段私達が利用している公共施設の他に、医療などの人の命を救う大切なものがあると、今回税について調べて知ることができました。現在では、少子高齢化により若い世代の人達の高齢者への働き手の減少が問題になっています。もし税金を納める人が減り税金自体も減ると、今まで当たり前だと思っていた生活を送れなくなってしまうかもしれません。それを防ぐためにも、税金についてきちんと理解していく事が大切だと思います。

私は大人になったらきちんと納税して社会を支えられる人になりたいです。

### 公益社団法人出雲法人会優秀賞受賞作品 税金と未来

久家 鈴 (12歳)

私は、税金があがるごとに、嫌だな、と思うてしまいます。なぜなら、買い物をするときに払う金額が高くなって、買いたいものが買えなくなってしまうたりするからです。

私はよく、100円均一で買物をします。100円均一にはいるんなものが

あり、1,000円もあれば欲しい物をたくさん買うことができるのでとても嬉しいんです。私が小学校に上がらたてのときは、まだ1個100円くらいだったと思います。そのときは、よく100円均一に行って、小物、文房具などをたくさん買って、工作や小物作りなどをしていました。中学年くらいになると、1個105円くらいにまで上がっていました。まだ小さい頃なので、何も知らずに税金って高いな、と思うていました。

私が小学5年の頃、テレビニュースで少子高齢化の話題を取り上げていました。その頃は社会的な問題に興味があったので、じっくり聞いてみると、お年寄りの人が働けなくなったら、年金というお金で生活するという内容でした。私の祖父と母は年金に関係のある仕事をしていて、年金に関する話題は食事のときなどにしていました。少子高齢化が加速する世の中で、私達が払う税金が年金になっていくと知ったときは、税金があつてよかったな、という考えに変わりました。私だって将来は働けなくなつて、年金生活を送る日があると思います。そのときにお金がないとなら、生活していくことができません。そんな苦しい思いはしたくないです。だから、今の年金生活をしている人にも苦しい思いはして欲しくないと思いました。

でも、そんなことばかり言っているのも、税金が高くなるのは、少しいやになります。私のように、不満がある方もおられると思うので、国民の人々全てが、今の現状を理解した上で、納得のいく税金の価格にしなければなりません。それを決めるのが国会で、その意志を少しでも考え

るのが議員の方々です。そのことを、少しでも考えて話し合っていることを信じています。

中学2年生になって少しは社会的問題をきちんと理解できる歳になり、税金・年金・少子高齢化など、たくさん問題をニュースなどで理解したいと思っています。特に少子高齢化の問題は深刻で2050年には、働いて支えてくれる人が、老人一人あたり、1〜2人になってしまうようです。そのようなことにならないように、今から少しずつ解決できるようにしてほしいです。

私は、このようなことを知って、税に対する考えが変わりました。これからも、もっと税金があることに感謝して、生活していこうと思います。

今月の  
1枚

「任せろ!!」

山藤 奈津 (24歳)

